



2025年12月26日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ガ ー デ ン  
代 表 者 名 代表取締役社長 川 島 賢  
(コード番号：274A 東証スタンダード)  
問 合 せ 先 専務取締役管理本部長 小澤 修三  
(TEL. 03-5361-8003)

### 通期業績予想の修正及び配当予想の据え置きに関するお知らせ

当社は、2025年12月26日開催の取締役会において、最近の業績及び積極的なM&Aにかかる先行費用等の動向を踏まえ、2025年4月14日に開示いたしました2026年2月期の通期業績予想につきまして、下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

なお、当期（2026年2月期）配当予想については変更ありません。

#### 1. 当期の業績予想数値の修正（2025年3月1日～2026年2月28日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	18,290	2,050	1,930	1,320	190.47
今回修正予想（B）	17,830	1,380	1,290	830	119.76
増 減 額（B－A）	△460	△670	△640	△490	
増 減 率（％）	△2.5%	△32.7%	△33.2%	△37.1%	
（参考）前期実績 （2025年2月期）	17,159	1,849	1,722	1,207	219.93

#### 2. 修正の理由

当社は成長戦略として、①主力ブランドの駅前好立地への計画的出店、②企業再生型M&Aによる事業拡大、③海外展開、の3軸を推進しております。

売上高につきましては、過去の価格改定に伴う入客数減少からの回復が緩やかであり、それに加えラーメン事業においては記録的な酷暑による駅前立地店舗への入客数減が顕著でありました。また物件の精査等により出店の計画ずれが生じ、特に主力ブランドのひとつ「山下本気うどん」において計画5店舗のうち2店舗の出店が来期以降へ順延となったことなどから、当初予想を下回る見通しとなりました。

利益面につきましては、主力ブランド「老角家」において、客数回復に向けて10月中旬まで実施していた戦略的な販売促進キャンペーンによる一時的な粗利率の低下・店舗人件費の増加による影響がございました。また今後の事業成長を支える人材確保のための募集費、入客数減を補う販売チャネルとして目下好調な宅配の手数料、現金以外の決済手段の増加によるカード手数料などといった販管費の増加が想定以上となり、当初予想を下回る見通しとなりました。

一方で、将来の成長基盤を確実にするため、上場以前より掲げているM&Aや海外展開を積極的に推進しております。既に収益に寄与している案件に加え、現在複数の案件が進行中です。中長期的な成長基盤を早期に確立すべく、当初の想定を上回るペースでこれらの先行投資を積極的に実施しており、その費用が期末に向けても発生する見込みです。

以上の結果、当会計年度の営業利益以下の各段階利益が、前回予想を大きく下回る見通しとなりましたので、2026年2月期の通期業績予想を修正することといたしました。なお、足元では、選ばれる魅力的な店舗・商品づくりへの回帰を軸に、従業員のエンゲージメント向上やQSCAの強化に注力することで、既存店の活性化や収益構造の見直しに着手しており、来期以降の早期回復を目指してまいります。

### 3. 配当予想に関して

当社は、株主の皆様への安定的な利益還元を経営の重要課題と認識しております。現在の配当方針（配当性向40%を目安）に基づき検討した結果、当期の業績推移を鑑みつつも、中長期的な成長への自信と株主還元姿勢を明確にするため、期初予想を据え置き、年間配当金は1株当たり90円（記念配当を含む前期実績と同額）とする予定です。

※上記予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上